

# 私の本棚

中央図書館新着図書

「グリッツ」

エルモア

・レナード著  
(文芸春秋)

アメリカで人気絶頂のハードボイルド作家レナードの話題作。虚飾の町アトランティック・シティを舞台に、ヴィンセント警部が夜の女アイリスの死の謎を追う話。登場人物のしゃれた会話、乾いた文体が描き出す独特の雰囲気を楽しめる。

### ◆一般書◆

- ◇エディスト物語 (パジェット・パウエル)
- ◇ご冗談でしょう、ファインマンさん (R・P・ファインマン)
- ◇旅の幻燈 (五木寛之)
- ◇井伏鱒二随聞 (河盛好藏)
- ◇チーズバーガーズ (ボブ・グリーン)
- ◇大連 空白の六百日 (富永孝子)
- ◇墜落の夏 (吉岡忍)
- ◇子どもの健康診断を考える (山田真)
- ◇宇宙のウインブルドン (川上健一)
- ◇作家の肖像 (中島梓、栗本薫) ほか

### ◆児童書◆

- ◇絵本 野麦峠 (山本茂実)
- ◇我利馬の般出 (灰谷健次郎)
- ◇中国に残された子供たち (古世古和子)
- ◇塩のはなし (半田昌之)
- ◇いたずらカラスのハンス (ブッシュ) ほか



**相談①** 路上でセールスマンに呼び止められ、執ように勧められて化粧品セットを購入する契約をしました。解約をしたいのですが……。

**答** 路上で素性の知れない人が物(化粧品や衣服、布団など)を売りつける「キヤッチセールス」が、このごろ多くなっており、その相談が市民生活課にも寄せられています。「アンケートに答えてほしい」「お肌(髪)の診断をさせてください」といった話の巧みに、つい誘われて一品数万円もの化粧品を買わされた方もあります。また、「一流メーカーの布団です」「有名商店の着物です」といって安物やニ

## なんでも相談室



路上でセールスマンに呼び止められ、

執ように勧められて化粧品セットを購入する契約をしました。解約をしたいのですが……。

### 相談②

セールスマンに、安全で確実だといわれ、シカゴの大豆取引に数十万円を支払いました。契約を撤回し、お金を返してもらいたいのですが。

### 答

海外商品取引にはニューヨークの砂糖プラチナ、ロンドンの石油、香港の金などがあります。悪質な取引行為は法律で規制され、取引市場と商品が指定されておりますが、

セ物を強引に売りつけられたというケースもありました。通産省の認可を受けた日本訪問販売協会では、このような販売方法について厳重な指導をしています。また訪販化粧品工業会では契約者から解約の申し入れがあったときは直ちに解除に応ずる、としています。

なお化粧品、健康食品などの消耗品は、使用したり消費したりするとクーリングオフ(七日以内なら無条件で解約できる制度)ができません。ご注意ください。

### 相談③

むやみにサインや印を押さない消費者ダイヤル

海外商品取引 農林水産省食品流通局商業課海外商品取引課 03-5501-6730

その他の取引 市民生活課 49-3111内線2006



すべての取引が適用されているわけではありません。この取引には、悪質な業者が多いほか、刻々と変わる相場を確認するのが難しい、為替相場も変動する、などから極めて危険なものでもあります。こうした取引にはどんなに勧められても応じないようにしましょう。

①勇気を出してはつきり断る

②見知らぬ人は玄関に入れない

③路上で素性の知れないセールスマンに話しかけられても相手にしない。

④むやみにサインや印を押さない

⑤消費者ダイヤル

海外商品取引 農林水産省食品流通局商業課海外商品取引課 03-5501-6730

その他の取引 市民生活課 49-3111内線2006

# 大館の歴史散歩

遺跡と遺物 ⑥

## 長森から出た三個の壺

昭和五十七年の夏、花岡町宇長森地内から三個の壺が発見された。発見したのは大森弘さん(大森土木)で、田んぼの黒土を剥ぎ取っている工事中の出来事であった。発見した場所は、花岡町本郷から繫沢へ向う途中、十瀬野公園墓地入口から北へ百五十メートル行った左手谷間の水田中からである(現在は埋立地)。

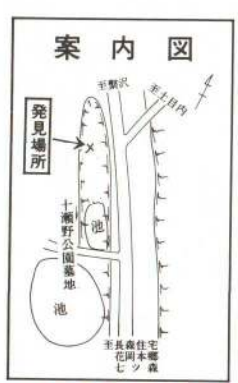
発見された壺は、いずれも能登半島珠洲市を窯元とする「珠洲焼き」の壺で、写真(2)、(3)は四つの把手をもつことから四耳壺と呼ばれるもので、「珠洲系陶器編年」によると、(1)は十二世紀後葉、(2)・(3)は十三世紀初頭に相当する。

この三個の壺は珠洲で焼かれたもので、日本海貿易で能代を経由して花岡に入ってきたものであろう。それでは、だれがこれを入手したのであろうか。おそらくは長森台地の南側に「七ツ館」を構えた館主と考え

るのが、妥当な解答であろう。秋田県からは珠洲系と同様の壺がこれまで二十個ほど発見されている

が、それらの多くは「経塚」と呼ばれる経を埋納する遺跡の「納経壺」として発見されている。長森の例は、沢(水田中)のジメジメした所からの発見で、高所乾燥地に営まれた経塚とは、存立する立地条件を著しく異にする。

大館地方における水稲農耕開発の当初は、沢水を利用した沢田耕作であって、それはこれらの壺が出土したような沢を利用して営まれたと考えられる。壺はこの沢の谷奥からの出土で、花岡地区の開発領主であった「七ツ館」館主によって営まれた水口祭りのような、農耕祭祀に使用された(埋められた)壺ではなからうか。三個の壺は、日本海沿いに発見された同類の壺と比べ、きわめて優秀な壺である。



▲(1)口径約21cm、高さ約37cm  
▲(2)口径約11.5cm、高さ約24cm  
▲(3)口径約11cm、高さ約25cm